

(別紙3)

強度行動障がい者支援者養成研修 実践編 講師一覧

講師名	所属	専門分野	略歴・業績等
加藤 潔	(指定管理) 札幌市自閉症者自立支援センター ゆい所長	自閉症スペクトラム症の子ども達の教育と福祉。	特別支援学校の教諭を長く務め、特別支援教育コーディネーターの先駆けとしての経験を持つ。発達障害支援センター所長を経て現職。自閉症スペクトラム症全般の相談、療育、教育的な支援に詳しい。自閉症スペクトラム支援士エキスパート。保育士資格も持つ。著書「発達に気になる子のステキを伸ばすかか
佐藤 貴志	共同生活援助事業やすらぎ 所長	強度行動障がいの人たちの地域支援。	知的障がい合併型の自閉症スペクトラム症と二次障がいとしての強度行動障がい等の極めて困難な事例等の支援に対する専門的な知識と経験を有する。また、障がいの重たい人たちを地域で支えるための方策や仕組みづくり等に係る研修講師を全国各地で務めている。
大澤 隆則	石狩市相談支援センター ぷろっぷ 所長	行動障がいをとまなう自閉症スペクトラム症の人たちの福祉と就労支援。	長く障害者支援施設に関わる。そこで自閉症スペクトラム症の人たちに対する有効な支援方法の研究と実践を積み重ねる。特に自閉症を中心とする発達障がいの人たちの就労支援に精通し、就労現場を支える支援者に対する研修を専門家のひとりとして全国に知られている。近年は一般企業と連携し、障がいをもった人たちがお店を利用しても困らないようにコミュニケーションツールの開発普及にも尽力している。
中野 喜恵	生活介護事業所 ぼぬーる 副所長		知的発達症重度の自閉症から知的機能の正常範囲の自閉症、触法障がい者の相談支援から直接支援まで幅広く対応する実践家。二次的・三次的にこじれた極めて困難な行動・行為障がいに対して障がいの特性や本質的な要因を分析して適切に対応する高い技術をもつ。国の行動援護従事者養成研修の講師を務めている。
石山 玲子	児童発達支援センター さんりんしゃ 副所長	自閉症スペクトラム症の子ども達の療育と教育的支援。	元特別支援学校教員。特に自閉症スペクトラム障がいの子ども達の教育、療育支援を専門とし、保育園・幼稚園・小学校等の保育・療育・教育機関へのコンサルテーション及び研修講師として活躍。また家族支援を重視し子どもを中心にしながらトータルケアという視点で専門的な相談や支援を展開している。
西尾 大輔	札幌市自閉症・発達障害支援センター 副所長	自閉症スペクトラム症の子ども達の療育と教育的支援。	元特別支援学校教員。発達心理学及び自閉症スペクトラム障がいについて専門的に学びを積み重ねるとともに、現職業務を通じて、福祉・教育・労働・医療等の様々な機関へのコンサルテーションや専門職向けの研修講師を務める等北海道の発達障がい領域を牽引する活躍をしている。
本郷 和章	共同生活援助事業あしり 業務課長	強度行動障がいの人たちの地域支援。	施設入所支援において強度行動障がいを有する人たちへの生命に関わる極めて緊張の高い支援現場を経験。その後、彼らの地域への移行及び定着支援に関わり実績を積み重ねる。現在、支援者を養成する部門で研修コーディネーターや講師を務める。
西尾 美里	札幌市自閉症・発達障害支援センター 相談員	自閉症スペクトラム症の人達の評価・就労に向けた相談	臨床心理士。元公共職業安定所において障がいをもつ方の就職支援に係る相談業務を経験。現在は、自閉症スペクトラム症を中心とした発達障がい児者の相談や基幹相談支援事業所と機能的な連携を図りスーパーバイザーとして広く地域の多様な相談に対応する。また、研修の企画運営及び講師としても活躍、心理士としてフォーマルな評価の実施分析においても精度の高い技術を有している。
真鍋 龍司	共同生活援助事業所あしり 所長	強度行動障がいの人たちを支援全般	日本の強度行動障がい児者支援の初期の頃より関わりをもつ。自閉症特化型の支援実践を通じて二次障がいを抱える自閉症の療育及び教育に有効性を示し影響を与えた。平成7年～10年強度行動障がい調査研究(厚生労働省委託研究)に関わる。北海道の発達障がい者支援センターを立ちあげ、札幌市自閉症者自立支援センター所長時代多くの強度行動障がいを地域移行させた実績をもつ。本指定事業